

令和7年度第2回市政モニターアンケート結果

テーマ 「下水道事業の意識調査について」

- (1) 目的 市民生活に必要不可欠なインフラでありながら、普段目にする機会が少ないため意識されにくい「下水道」。相模原市では地中にある下水道施設や工事の様子、下水道の正しい使い方等、「下水道」の「見える化」に取り組み、下水道事業への理解促進を進めています。より一層の広聴・広報事業の拡充、下水道事業の「見える化」に取り組むため、アンケート調査を実施しました。
- (2) 回答者数 170人
- (3) 調査期間 令和7年10月10日（金）から10月31日（金）まで
- (4) 結果要約 問7では、下水道の役割のイメージについて伺いました。回答者の88.2%（150人）が「汚水を運ぶもの」、66.5%（113人）が「雨水を運ぶもの」、65.9%（112人）が「公衆衛生に役立つもの」と回答し、日常生活に身近なものであると感じていることが分かりました。
- 問8及び問9では、家から排水した汚水がどのようにどこで処理されているか伺いました。回答者の85.3%（145人）が「下水処理場」と回答しましたが、相模原市の下水処理が茅ヶ崎市にある柳島水再生センターで行なわれていることを「知っている」は8.2%（14人）でした。
- 問11ではハザードマップを知っている方が45.9%（78人）、聞いたことはある方が34.7%（59人）と約8割がハザードマップを認識しており、近年の大雨への関心が影響していると思われました。
- 問13ではデザインマンホール蓋を84.7%（144人）が知っており、多くの方が認識していることが分かりました。また、問14ではどのようなデザインマンホール蓋があるとよいかを伺ったところ、「避難所案内」が54.7%（93人）、「市のイベントモチーフ」が40.6%（69人）とマンホール蓋の有効活用を望んでいることが分かりました。
- 問17では、下水道に関するイベントや勉強会へ参加したいと思うが66.5%（113人）と関心が高く、問17-1で興味がある内容を伺ったところ、「浸水対策」28.6%（32人）、「生活排水」25.0%（28人）、「処理場」19.6%（22人）が上位3項目となりました。

※表、グラフ内の数字は回答者数を基数とした百分率で表わし、小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります。

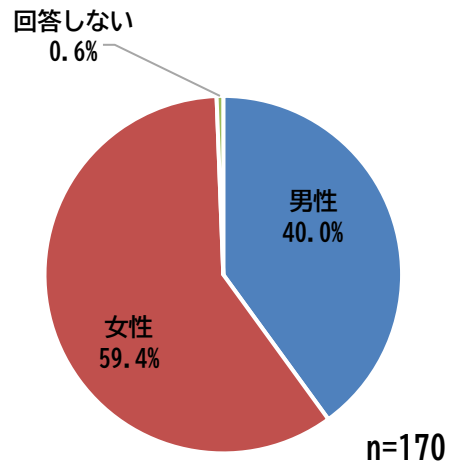
調査結果

【基本的項目について】

【問1】あなたの性別をお伺いします。(回答は1つ)

1 男性	2 女性	3 回答しない
------	------	---------

選択肢	回答数	回答分布
男性	68	40.0%
女性	101	59.4%
回答しない	1	0.6%
計	170	100.0%

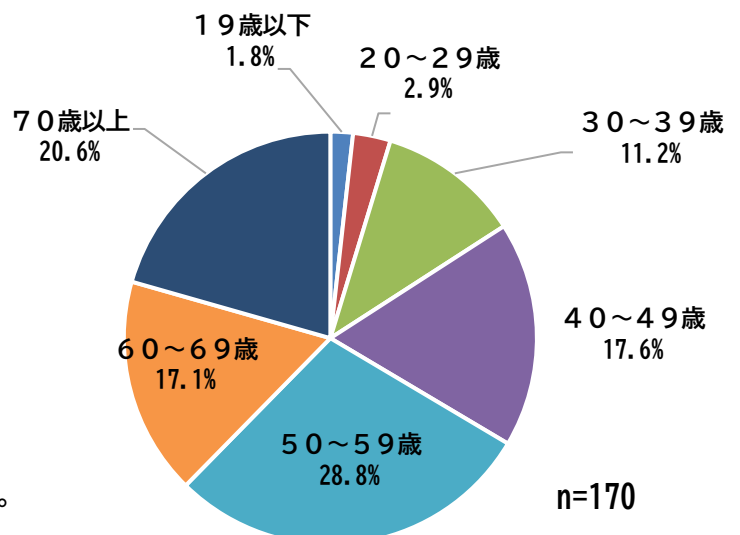


☆ 回答された方の性別は以上のとおりです。

【問2】あなたの年齢をお伺いします。(回答は1つ)

1 19歳以下	4 40～49歳	7 70歳以上
2 20～29歳	5 50～59歳	
3 30～39歳	6 60～69歳	

選択肢	回答数	回答分布
19歳以下	3	1.8%
20～29歳	5	2.9%
30～39歳	19	11.2%
40～49歳	30	17.6%
50～59歳	49	28.8%
60～69歳	29	17.1%
70歳以上	35	20.6%
計	170	100.0%

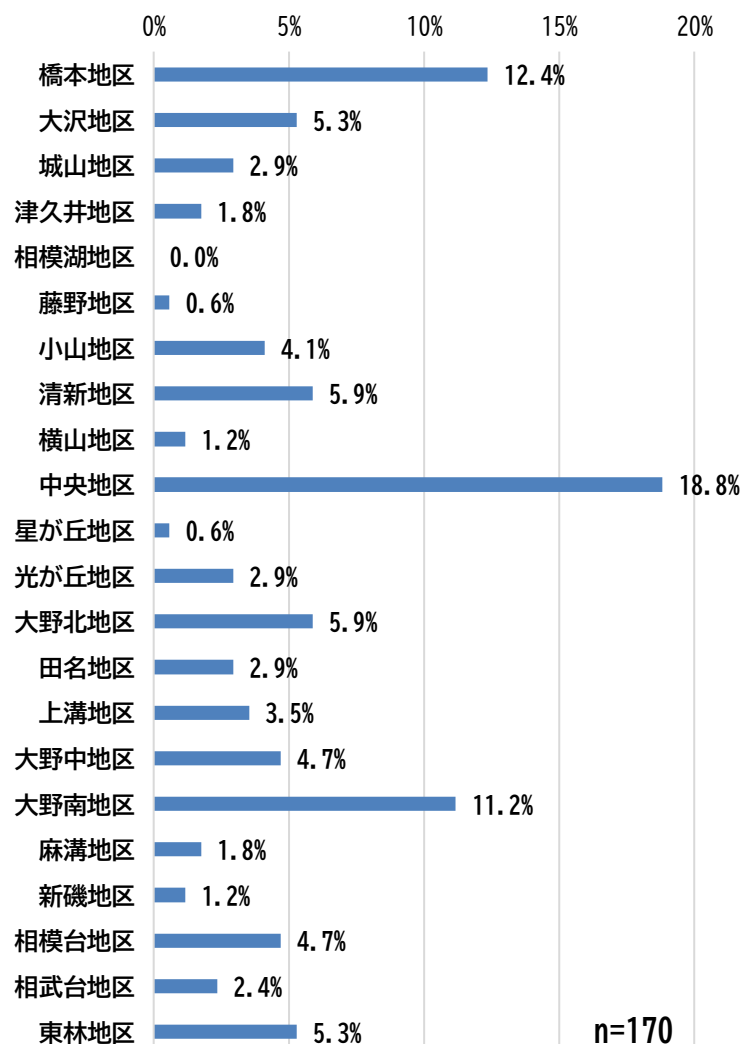


☆ 回答された方の年齢層は以上のとおりです。

【問3】あなたのお住まいの地区をお伺いします。(回答は1つ)

緑区	中央区	南区
1 橋本地区	7 小山地区	16 大野中地区
2 大沢地区	8 清新地区	17 大野南地区
3 城山地区	9 横山地区	18 麻溝地区
4 津久井地区	10 中央地区	19 新磯地区
5 相模湖地区	11 星が丘地区	20 相模台地区
6 藤野地区	12 光が丘地区	21 相武台地区
	13 大野北地区	22 東林地区
	14 田名地区	
	15 上溝地区	

選択肢	回答数	回答分布
橋本地区	21	12.4%
大沢地区	9	5.3%
城山地区	5	2.9%
津久井地区	3	1.8%
相模湖地区	0	0.0%
藤野地区	1	0.6%
小山地区	7	4.1%
清新地区	10	5.9%
横山地区	2	1.2%
中央地区	32	18.8%
星が丘地区	1	0.6%
光が丘地区	5	2.9%
大野北地区	10	5.9%
田名地区	5	2.9%
上溝地区	6	3.5%
大野中地区	8	4.7%
大野南地区	19	11.2%
麻溝地区	3	1.8%
新磯地区	2	1.2%
相模台地区	8	4.7%
相武台地区	4	2.4%
東林地区	9	5.3%
計	170	100.0%

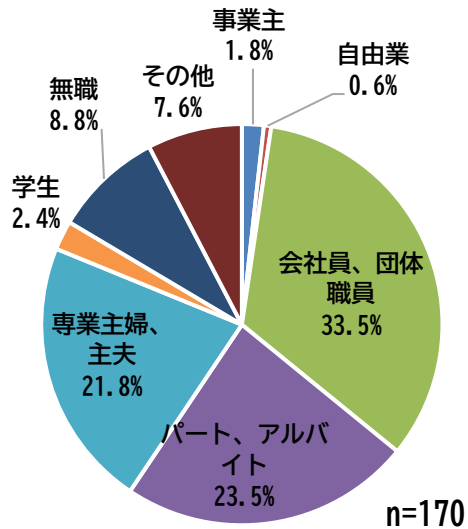


☆ 回答された方のお住まいの地区は以上のとおりです。

【問4】あなたの職業をお伺いします。(回答は1つ)

1 事業主
2 自由業
3 会社員、団体職員
4 パート、アルバイト
5 専業主婦、主夫
6 学生
7 無職
8 その他（具体的に： ）

選択肢	回答数	回答分布
事業主	3	1.8%
自由業	1	0.6%
会社員、団体職員	57	33.5%
パート、アルバイト	40	23.5%
専業主婦、主夫	37	21.8%
学生	4	2.4%
無職	15	8.8%
その他	13	7.6%
計	170	100.0%

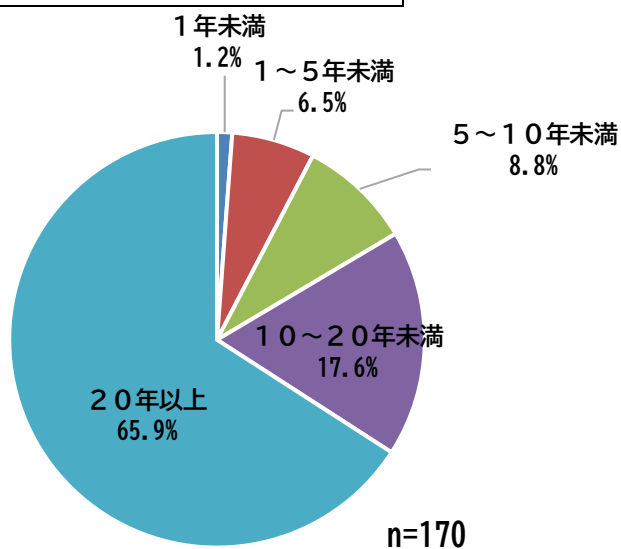


☆ 回答された方の職業は以上のとおりです。

【問5】あなたは相模原市に住んで何年になりますか。(回答は1つ)

1	1 年未満	4	1 0 ～ 2 0 年未満
2	1 ～ 5 年未満	5	2 0 年以上
3	5 ～ 1 0 年未満		

選択肢	回答数	回答分布
1 年未満	2	1.2%
1 ～ 5 年未満	11	6.5%
5 ～ 1 0 年未満	15	8.8%
1 0 ～ 2 0 年未満	30	17.6%
2 0 年以上	112	65.9%
計	170	100.0%



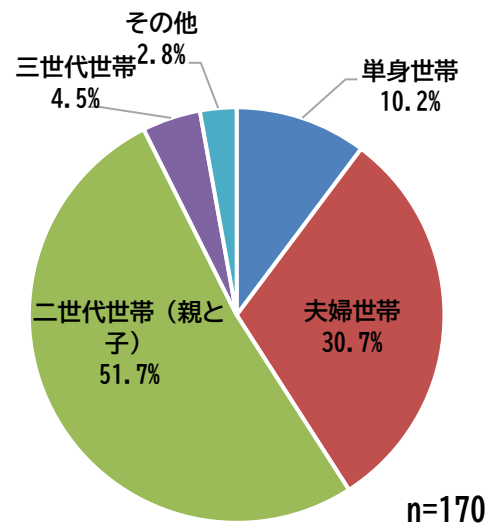
☆ 回答された方の居住年数は以上のとおりです。

【問6】あなたの家族構成をお伺いします。（回答は1つ）

- | | |
|---------------|---------|
| 1 単身世帯 | 4 三世代世帯 |
| 2 夫婦世帯 | 5 その他 |
| 3 二世世代世帯（親と子） | |

選択肢	回答数	回答分布
単身世帯	18	10.2%
夫婦世帯	54	30.7%
二世世代世帯（親と子）	91	51.7%
三世代世帯	8	4.5%
その他	5	2.8%
計	176	100.0%

☆ 回答された方の家族構成は以上のとおりです。

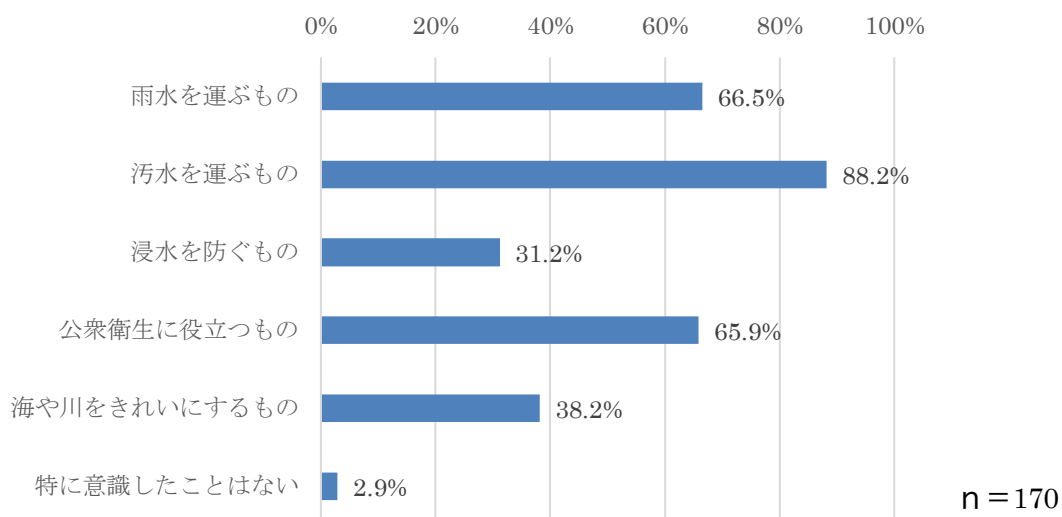


【本市の下水道事業についてお伺いします】

【問7】 下水道の役割のイメージについてお伺いします。(回答はいくつでも)

1 雨水を運ぶもの	4 公衆衛生に役立つもの
2 汚水を運ぶもの	5 海や川をきれいにするもの
3 浸水を防ぐもの	6 特に意識したことはない

選択肢	回答数	回答分布
雨水を運ぶもの	113	66.5%
汚水を運ぶもの	150	88.2%
浸水を防ぐもの	53	31.2%
公衆衛生に役立つもの	112	65.9%
海や川をきれいにするもの	65	38.2%
特に意識したことはない	5	2.9%



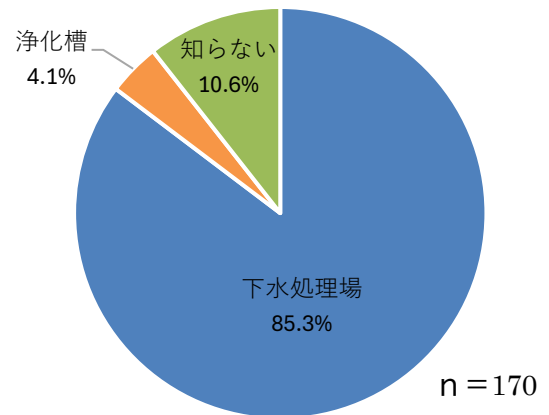
☆ 「汚水を運ぶもの」が88.2%、次いで「雨水を運ぶもの」が66.5%、「公衆衛生に役立つもの」が65.9%という結果となりました

【問8】 あなたの家で使った水（污水）がどこに流れていくのか知っていますか。（回答は1つ）

1 下水処理場	2 浄化槽（※1）	3 知らない
---------	-----------	--------

※1 浄化槽とは、各個人宅で生活排水を処理する施設です。

選択肢	回答数	回答分布
下水処理場	145	85.3%
浄化槽	7	4.1%
知らない	18	10.6%
計	170	100.0%



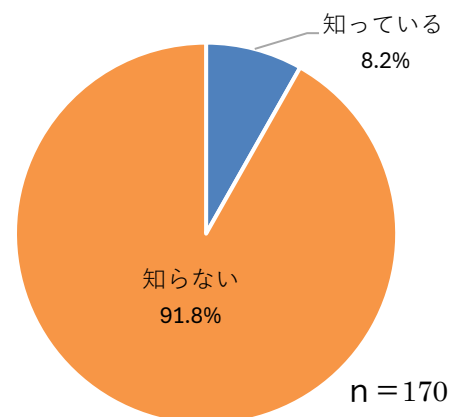
☆ 「下水処理場」が85.3%、「浄化槽」が4.1%、「知らない」が10.6%という結果となりました。

【問9】 本市の下水処理が茅ヶ崎市の柳島水再生センターで行なわれていることを知っていますか。

（回答は1つ）

1 知っている	2 知らない
---------	--------

選択肢	回答数	回答分布
知っている	14	8.2%
知らない	156	91.8%
計	170	100.0%



☆ 「知っている」が8.2%、「知らない」が91.8%という結果になりました。

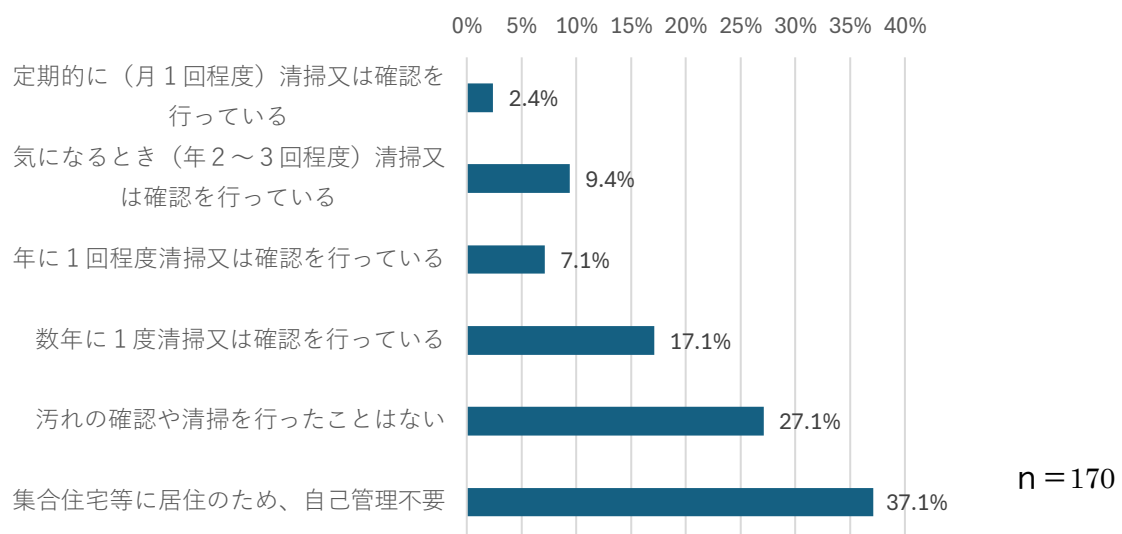
【問 10】 自宅敷地内の雨どいや雨水浸透ます（※2）等の手入れはどのようにされていますか。

（回答は1つ）

- 1 定期的に（月1回程度）清掃又は確認を行っている
- 2 気になるとき（年2～3回程度）清掃又は確認を行っている
- 3 年に1回程度清掃又は確認を行っている
- 4 数年に1度清掃又は確認を行っている
- 5 汚れの確認や清掃を行ったことはない
- 6 集合住宅等に居住のため、自己管理不要

※2 雨水浸透ますとは、宅地内に降った雨水を地面へ浸透させる施設です。

選択肢	回答数	回答分布
定期的に（月1回程度）清掃又は確認を行っている	4	2.4%
気になるとき（年2～3回程度）清掃又は確認を行っている	16	9.4%
年に1回程度清掃又は確認を行っている	12	7.1%
数年に1度清掃又は確認を行っている	29	17.1%
汚れの確認や清掃を行ったことはない	46	27.1%
集合住宅等に居住のため、自己管理不要	63	37.1%
計	170	100.0%

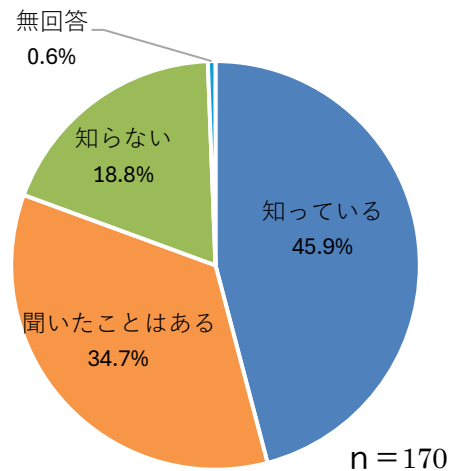


☆ 「集合住宅等に居住のため、自己管理不要」が 37.1%、次いで「汚れの確認や清掃を行ったことはない」が 27.1%、「数年に1度清掃又は確認を行っている」が 17.1%という結果になりました。

【問 11】 「相模原市浸水（内水）ハザードマップ」を知っていますか。（回答は1つ）

1 知っている	2 聞いたことはある	3 知らない
---------	------------	--------

選択肢	回答数	回答分布
知っている	78	45.9%
聞いたことはある	59	34.7%
知らない	32	18.8%
無回答	1	0.6%
計	170	100.0%



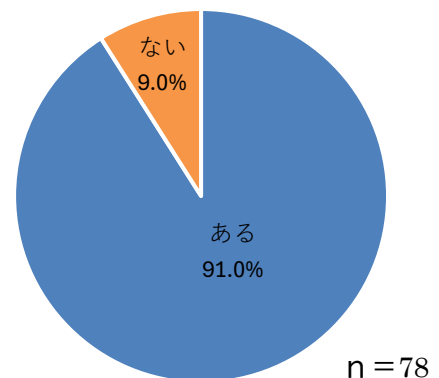
☆ 「知っている」が45.9%、「聞いたことはある」が34.7%、「知らない」が18.8%という結果になりました。

《問 11 で1とお答えの方》

【問 11-1】 「相模原市浸水（内水）ハザードマップ」を見たことはありますか。（回答は1つ）

1 ある	2 ない
------	------

選択肢	回答数	回答分布
ある	71	91.0%
ない	7	9.0%
計	78	100.0%



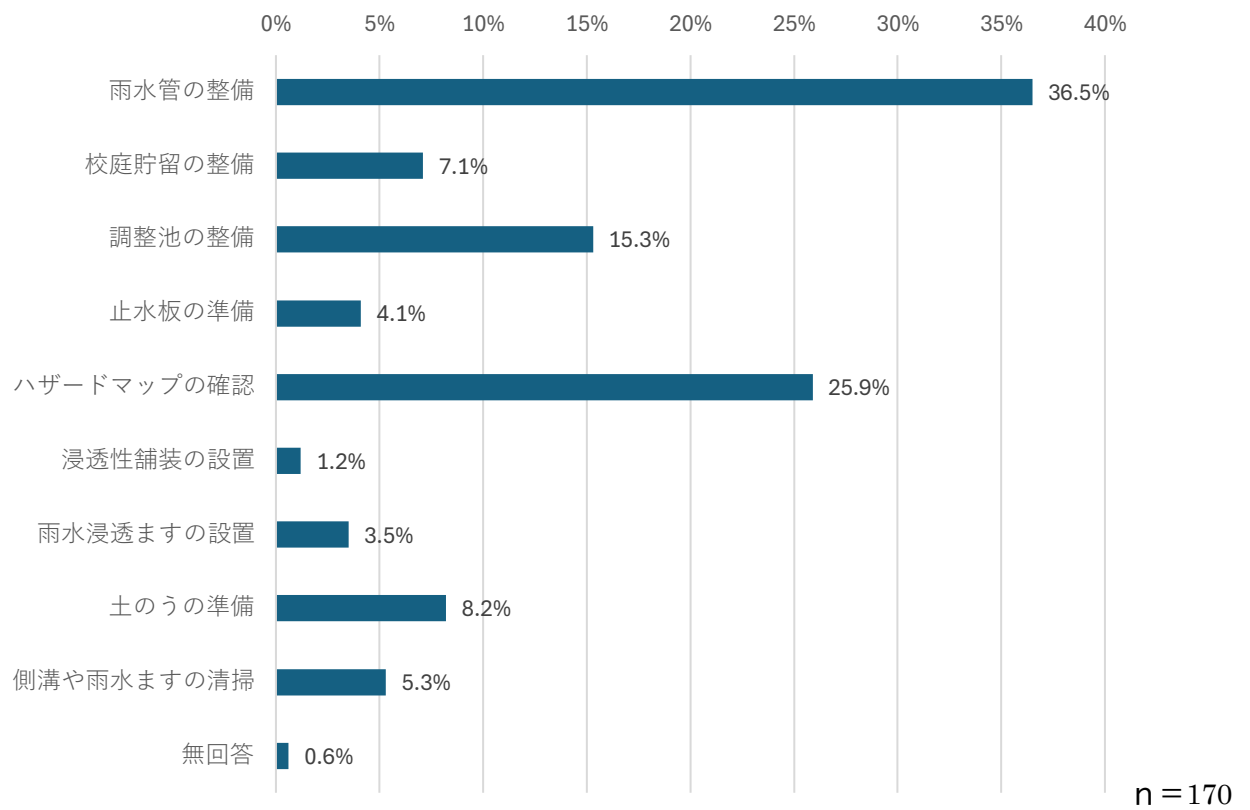
☆ 「ある」が91.0%、「ない」が9.0%という結果になりました。

【問 12】 あなたの知っている浸水対策を教えてください。（回答はいくつでも）

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 雨水管の整備 | 6 浸透性舗装の設置 |
| 2 校庭貯留の整備 | 7 雨水浸透ますの設置 |
| 3 調整池の整備 | 8 土のうの準備 |
| 4 止水板の準備 | 9 側溝や雨水ますの清掃 |
| 5 ハザードマップの確認 | |



選択肢	回答数	回答分布
雨水管の整備	62	36.5%
校庭貯留の整備	12	7.1%
調整池の整備	26	15.3%
止水板の準備	7	4.1%
ハザードマップの確認	44	25.9%
浸透性舗装の設置	2	1.2%
雨水浸透ますの設置	6	3.5%
土のうの準備	14	8.2%
側溝や雨水ますの清掃	9	5.3%
無回答	1	0.6%



☆ 「雨水管の整備」が 36.5%、次いで「ハザードマップの確認」が 25.9%、「調整池の整備」が 15.3%という結果となりました。

【問 13】 本市では広報活動の一環として、マンホール蓋を身近に感じていただくために、デザインマンホール蓋を設置しています。市内にデザインマンホール蓋があることを知っていましたか。

(回答は1つ)

1 知っていた

2 知らなかった

デザインマンホール（はやぶさ2）



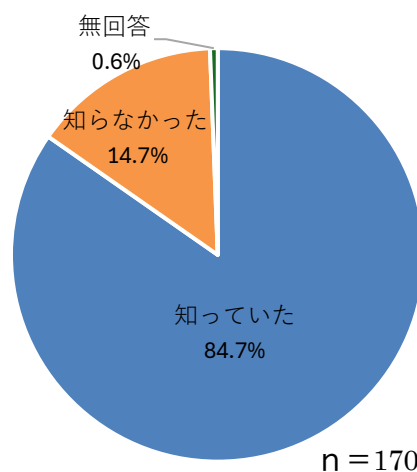
デザインマンホール（あじさい）



デザインマンホール（けやき）



選択肢	回答数	回答分布
知っていた	144	84.7%
知らなかった	25	14.7%
無回答	1	0.6%
計	170	100.0%

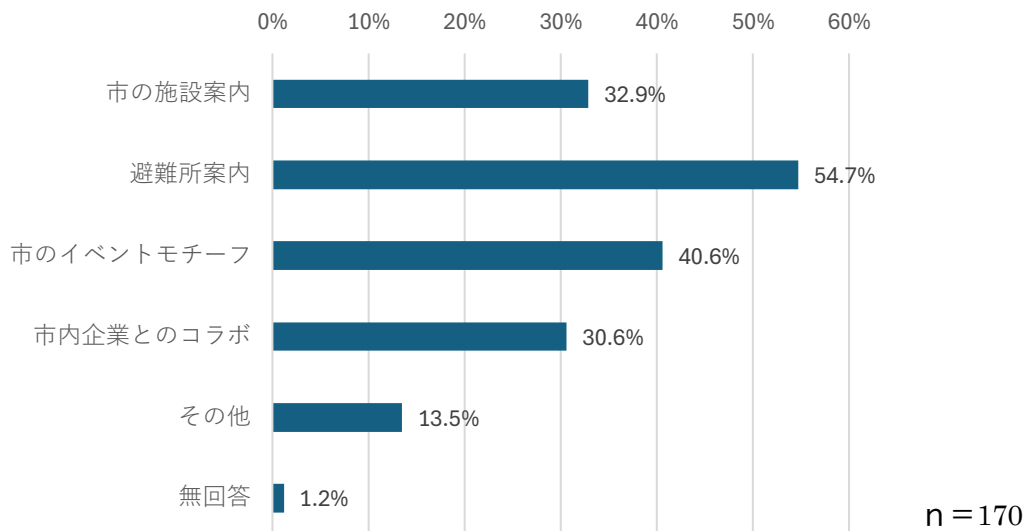


☆ 「知っていた」が84.7%、「知らなかった」が14.7%という結果になりました。

【問 14】 どのようなデザインマンホール蓋があるとよいと思いますか。（回答はいくつでも）

1	市の施設案内	4	市内企業とのコラボ
2	避難所案内	5	その他（具体的に： ）
3	市のイベントモチーフ		

選択肢	回答数	回答分布
市の施設案内	56	32.9%
避難所案内	93	54.7%
市のイベントモチーフ	69	40.6%
市内企業とのコラボ	52	30.6%
その他	23	13.5%
無回答	2	1.2%



☆ 「避難所案内」が54.7%、次いで「市のイベントモチーフ」が40.6%、「市の施設案内」が32.9%という結果となりました

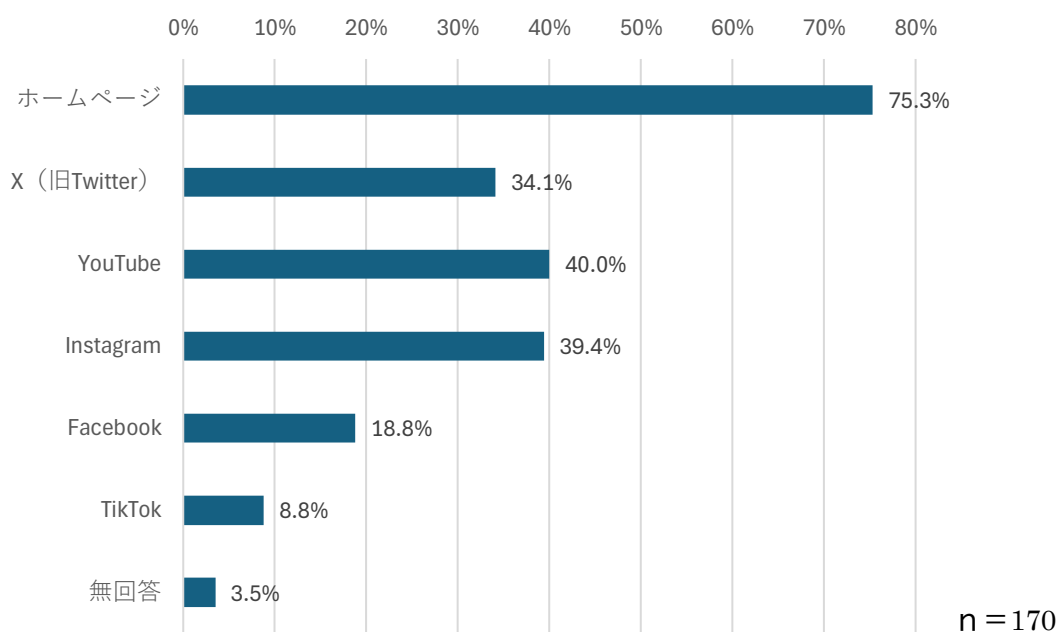
《その他》

- ・人気キャラクター（アニメキャラやさがみなど）とのコラボ
- ・市にゆかりのある有名人やエンタメ作品とのコラボ
- ・相模原市の観光や特産物に関するもの
- ・市民からの公募によるもの
- ・リニアモーターカーに関するもの
- ・「潤水都市さがみはら」を象徴するもの
- ・下水道の豆知識を表示したもの
- ・QRコードを表示し、スタンプラリーができるもの

【問 15】 本市では下水道事業の「今」をお伝えするため、下水道 Instagram 等にて情報発信を行っています。あなたが普段情報を得るために何を使用していますか。（回答はいくつでも）

1 ホームページ	4 Instagram
2 X（旧 Twitter）	5 Facebook
3 YouTube	6 TikTok

選択肢	回答数	回答分布
ホームページ	128	75.3%
X（旧 Twitter）	58	34.1%
YouTube	68	40.0%
Instagram	67	39.4%
Facebook	32	18.8%
TikTok	15	8.8%
無回答	6	3.5%



☆ 「ホームページ」が最も多く 75.3%、次いで「YouTube」が 40.0%、「Instagram」が 39.4%という結果になりました。

【問 16】 下水道についてどのような情報が発信されるとよいと思いますか。（自由記入）

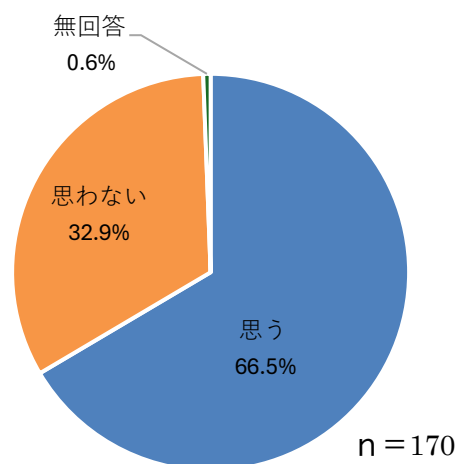
《主な意見》

- ・下水道施設の役割や仕組み、重要性
 - ・下水道施設の維持管理の状況
 - ・下水道料金の使い道
 - ・下水道事業の仕事内容
 - ・下水道のイベント情報
 - ・下水道の過去から現在までの変遷
 - ・下水道施設への負担を軽減したり、防災のために各家庭や個人でできること
 - ・大雨時の下水道管や調整池の状況
 - ・下水道の現在の課題と取組状況
 - ・相模原市内の下水道管の老朽化と今後の整備計画、現在の整備状況
 - ・市ホームページやSNSなどを活用し、動画による情報発信
- 等

【問 17】 下水道に関するイベントや勉強会があれば、参加したいと思いますか。（回答は1つ）

1 思う（⇒問 17-1 へ）	2 思わない
-----------------	--------

選択肢	回答数	回答分布
思う	113	66.5%
思わない	56	32.9%
無回答	1	0.6%
計	170	100.0%

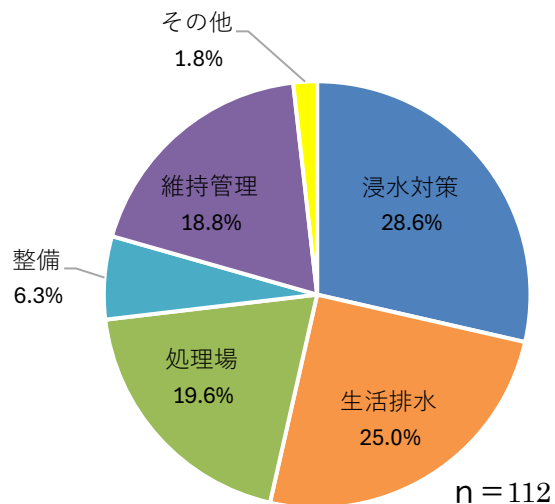


☆ 「思う」が66.5%、「思わない」が32.9%という結果になりました。

【問 17-1】 どのような内容に興味がありますか。(回答は1つ)

1	浸水対策	4	整備
2	生活排水	5	維持管理
3	処理場	6	その他（具体的に： ）

選択肢	回答数	回答分布
浸水対策	32	28.6%
生活排水	28	25.0%
処理場	22	19.6%
整備	7	6.3%
維持管理	21	18.8%
その他	2	1.8%



《その他》

- ・子どもが喜ぶイベント、生き物採り
- ・記録的大雨による浸水対策、日常的な設備点検

【問 18】 最後に下水道に関してご意見がありましたらご記入ください。（自由記入）

《主な意見》

- ・安心安全の下水道管理をこれからも徹底してほしい
- ・上下水道は最重要インフラのため、民営化・コンセッション方式にはしないほしい
- ・下水道管や水道管の老朽化が進んでいるが、どのような取り組みをしているのか。計画的に点検、更新をしてほしい
- ・小学校で下水道に関する出前授業や下水処理場の社会見学を実施してほしい
- ・下水処理場が市内にないとは思わなかった
- ・市のホームページを活用して「下水道の働きと仕組み」を積極的に情報発信してほしい
- ・各種の新技术を用いて維持管理に有効活用してほしい
- ・マンホールカードをきっかけに、下水道のことに関心が持てるようになった
- ・下水道は普段見えないため気にしていなかったが、最近の豪雨などで下水道の存在の重要性に気が付いた
- ・子どもが見学や体験ができ、楽しめそうなイベントや体験施設があるといい
- ・下水道への関心が高くなるよう、下水道全般（仕組み、現状、予算など）に関する情報発信をしてほしい

今後の活用

今回のアンケート結果では、下水道への認識状況や市事業の認知度など、貴重な回答を得ることができました。今後はこのデータを活用し、下水道のより一層の広聴・広報事業の拡充、下水道事業の「見える化」に取り組んでまいります。

このアンケートに関するお問合せは、こちらへお願いいたします。

相模原市 都市建設局 土木部 下水道経営課

電話 042-707-1840（直通）

〒252-5277 相模原市中央区中央 2-11-15